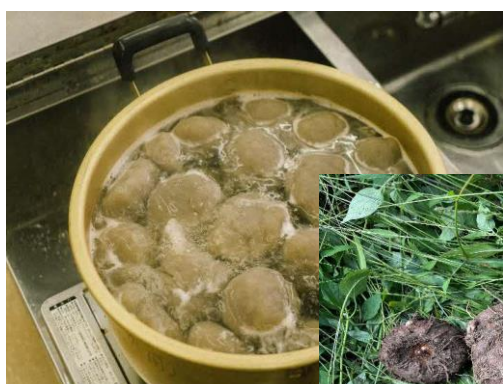


地域おこし協力隊

vol. 22

『横山陽子』の活動日記

コロナウイルスの影響で延期になっていました3回目のワンデイカフェを3月27日に開催することが出来ました。今回もたくさんの方々にお越しいただきましてありがとうございました。3回目は飯南高校の応援団サークルの生徒さんに色々お手伝ってもらい、とても盛り上がりました。私は、こんにゃく作り体験のスタッフとしてお手伝いさせていただきました。エゴマの灰汁を使ったこんにゃく作りを教えてくださいるのは、波瀬のおばあちゃんです。このこんにゃく作りがしたいからと名古屋から朝早く来てくださった方もみえて、こんにゃく作り体験は人気でした。



私の協力隊の任期は残り4か月（9月末まで）となりました。エゴマの灰汁を使ったこんにゃく作り体験は、協力隊の任期が終わったあとも続けていきたい事業のひとつです。たくさんの方に、このこんにゃくの美味しさと、飯南・飯高・嬉野地域の魅力を伝えていきたいです。また、自分でこんにゃく芋を育ててみたいと思っています。ただ在来のかんぴやく芋や種芋がなかなか手に入らない課題があります。分けてくださる方の情報が少しずつ入り出しています。とても助かります。在来のかんぴやく芋を作ってみえる方で、芋や種芋を少しでも分けてくださる方がいらっしゃいましたら、ご連絡をいただけると嬉しいです。また、こんにゃく芋の作り方（畑の話を聞かせてください。）も教えていただきたいです。よろしくお願いします。

＼ 協力隊の日々の情報はこちらをチェック／

松阪市地域おこし協力隊の



Instagram



松阪市地域おこし協力隊の



Facebook



※地域おこし協力隊・・・人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。